

## 平成29年7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H29年7月 数量 (トン)	H29年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産、青森県産中心の入荷でした。産地の高温等による品質への影響もあり、単価に関しては昨年を大幅に下回る状況となりました。	467	99	101%	59%
2		キャベツ	サイズはやや大玉傾向で推移しました。入荷は下旬から出荷量が増加しましたが、平年並みの入荷量でした。	732	62	88%	87%
3		トマト	入荷は上旬の北海道、東北の気温の影響により増加しました。	582	268	124%	84%
4		なす	露地作の遅れにより入荷量は減少しました。	125	322	96%	84%
5		たまねぎ	6月の入荷が7月にずれた影響により、入荷量は増加しました。	440	100	131%	50%
6	果実	西瓜	山形県、秋田県、長野県産の出荷が遅れた影響により、入荷量は大幅に減少しました。	558	205	69%	121%
7		デラ	山形県、大阪府産の6月の入荷が7月にずれた影響により、入荷量はやや増加しました。	25	921	103%	122%
8		桃	山梨県産は入荷量が少なく、福島県産は天候が安定しなかった影響から入荷開始が大幅に遅れました。全体的には干ばつの影響により、糖度の高い上位等級の入荷が多く、単価高で推移しました。	220	571	135%	118%